

広報・広聴活動の推進について

令和5年11月17日

秘書広報室 広報広聴課

目次

I 広報活動の推進

- 1 パブリシティ活動の強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 01
- 2 効果的な広報媒体の活用・・・・・・・・・・・・・・ 02
- 3 全庁広報力の充実強化・・・・・・・・・・・・・・ 08
- 4 県民が参画できる県広報基盤の確立・・・・・・・・ 11

II 広聴活動の推進

- 1 県政への意見・提言の把握・・・・・・・・・・・・ 13
- 2 相談体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 県庁見学の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 参考 県民モニター調査概要・・・・・・・・・・・・ 19



Ⅰ 広報活動の推進

1 パブリシティ活動の強化

(1) 定例会見による発信

県施策のタイムリーな情報発信、報道機関からの幅広い質疑の機会として原則週に1回開催。

手話通訳の導入、インターネットライブ中継により多くの県民に県政情報を適時・適切に発信。



定例会見の様子

(2) 行事と連動したトップセールスの実施

知事の囲み取材への対応、視察現場や会議の公開、報道番組への知事自らの出演など、取材の機会を増やし、積極的なパブリシティ活動を実施。



視察後の取材対応（香住漁港）

1 広報活動の推進

2 効果的な広報媒体の活用

(1) 県民への情報発信

① 兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」（予算額 267,295千円）

「兵庫県のさまざまなことがわかり、兵庫県のことがもっと好きになる広報紙」をコンセプトに、フィールドパビリオンをはじめ、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力やイベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信。

スマートフォンでも見やすいホームページを作成し、SNS広告で積極的に周知。

【概要】

- ・規格：タブロイド判8ページ（全面フルカラー）
- ・部数：1,400,000部
- ・発行：年12回、毎月1日発行（4月号は3月31日発行）
- ・地域版：8面地域版は10県民局切り替え
- ・配布方法：新聞折込、公共施設等への配架
- ・認知度：51.3%（令和4年度インターネット調査）
- ・デジタル展開
自治体広報アプリ「マチイロ」、デジタルブック「HYOGO ebooks」「マイ広報紙」などの電子書籍に掲載
- ・ユニバーサル対応
点字広報紙「広報ひょうご」（750部）、音声による広報「愛の小箱」（CD600枚）を毎月発行



紙面例

② 県民情報テレビ番組「ひょうご発信！」（予算額 72,897千円）

身近なTV放映の特性を生かし、県政や県の魅力（フィールドパビリオン、観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく分かりやすく紹介する情報番組を提供。

【放送日時】 毎週日曜日 8時30分～8時55分

【放送内容】 ・フィールドパビリオンをはじめとする県の取組を分かりやすく紹介
 ・県内各地の魅力を観光・グルメ・スゴイ人など様々な切り口で紹介
 ・知事自らが県政情報や地域の魅力等を発信

【視聴率】 4.0% （日本リサーチセンター調査（R5.7.23））



齋藤知事としゃべろっ！



THAT'S FIPAVI

(2) 県内外への情報発信

① インターネットを活用した情報発信

ア ホームページ（予算額 23,792千円）

主要施策や防災、イベント・観光などの県政情報全般を提供。災害等緊急時には、県政情報を発信しつつも緊急度、重要度が高い情報を目立たせる等、状況に応じて情報を分かりやすく発信。

【トップページアクセス数】34万2千件/月（R5年度）



県ホームページ（トップページ）

イ SNS (X(旧Twitter)、Instagram等)

速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性を生かし、多様な県政情報等を、迅速かつきめ細かく発信

(ア) X (旧Twitter)

防災情報やイベント、観光情報などを毎日発信

【フォロワー数】 94,945人 (R5.10月末現在)



X (旧ツイッター)

(イ) Instagram

県政に関する内容のうち、画像による発信効果が見込めるものや、文書では伝わりにくいもの等を発信

【フォロワー数】 4,554人 (R5.10月末現在)



インスタグラム

ウ ひょうごチャンネル

YouTubeと連動して知事記者会見（ライブ・録画）や、施策、イベント等の県政情報を動画配信。

【概要】

- ・ 動画登録数 1,699本（R5.10月末現在）
- ・ 閲覧数 約150万回（R4年度）

エ スマートニュース

日本最大のスマートフォン専用ニュース閲覧アプリ「スマートニュース」と県が提携し、記者発表資料を配信。



ひょうごチャンネル（フィールドパビリオンPR動画）

② 在阪メディアを活用した県の魅力発信 (予算額 32,000千円)

テレビ情報番組とラジオ・SNS等のメディアミックスによるインターネットを連動させながらひょうごフィールドパビリオン及び全国に誇る兵庫県のスポート資源の魅力を近畿府県を中心に発信。



在阪民放テレビ局によるフィールドパビリオン中継

③ ラジオを活用した県の魅力発信強化 (予算額 7,177千円)

ラジオ関西で毎週火曜日、兵庫県の情報コーナー「GO!HYOGO!」を設け、人・モノ・地域などの魅力紹介、県イベントの告知を実施。(番組「Clip」内で約10分間)

また、毎月第2木曜日、知事が出演するコーナー「こちら知事室!」を設け、県政のタイムリーな話題を発信。(番組「三上公也の朝は恋人」内で約25分間)

I 広報活動の推進

3 全庁広報力の充実強化

(1) 専門人材の設置（予算額 12,204千円）

職 種	内 容	勤務形態
広報プロデューサー	個別施策に応じた広報戦略の企画・立案、広報物の品質向上に向けた指導の総括	3～4日／週
メディアディレクター	効果的な情報発信のための最適なメディア選択や発信方法等への指導・助言	2日／週
デザインディレクター	ポスター、チラシ、動画等のデザイン向上に向けた指導・助言	2日／週

(2) 主要事業への助言

ひょうごフィールドパビリオンや県産食材フェアなど各部局の主要事業等に対して、広報プロデューサー等が助言を行い、戦略的な広報活動を支援。

【実績】

(件数)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5.9月末
助言等支援数	263	565	630	302

【専門人材による広報支援事例】

ひょうごフィールドパビリオン

視覚に訴えるロゴ・キャッチコピー制作、HPや動画等を組み合わせたメディアミックスによる効果的な発信手法について指導・助言。

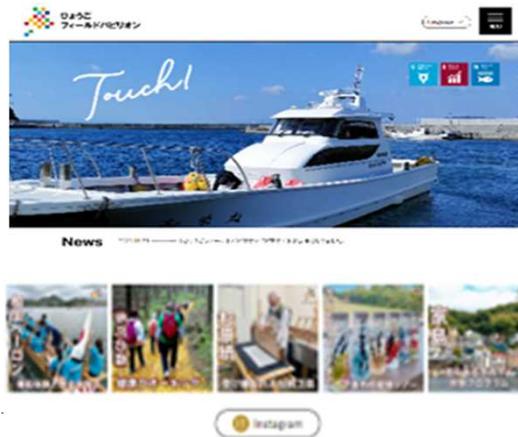


ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

【ロゴ】
県の地形をベースにSDGsを想起させる配色で多彩な魅力を表現

【ホームページ】
各プログラムの内容紹介等についてストーリー性のある展開を提案



【動画】
各地域を五感・時間軸でイメージできるストーリー展開を提案

コレも兵庫！HYOGOうまいもんCOLLECTION

県産食材そのものの魅力に加え、「生産者の声」の取材により、風土や歴史などの背景も掘り下げたタブロイド紙の発行を提案。実際に味わい楽しみたくなる紙面構成を指導・助言。



R5.8月発行のタブロイド紙では、淡路のハモとタマネギの組み合わせの魅力を生産者や料理人のリアルな声を盛り込んで紹介

(3) 職員向け研修の実施

【実績】

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5.10月末
研修数	7	10	17	14
研修受講人数（人）	444	813	799	952

【令和5年度の主な研修】

研修名	対象	研修内容
新任職員研修	新規採用職員	広報相談事例等を紹介しながら、県民目線に立った自治体広報のあり方や広報の重要性について講義
県民局広報担当者研修	県民局職員	県民だより地域版や県民局HPの効果的な活用方法について好事例を紹介しながら解説
県立社会教育施設広報担当者研修	県立美術館、博物館等職員	施設で開催する企画展やイベント等の効果的な広報について事例紹介を交えて解説
市町職員向け研修	市町広報担当職員	自治体広報のあり方やHP、SNSの効果的な活用方法について県の事例等を紹介しながら解説

Ⅰ 広報活動の推進

4 県民が参画できる県広報基盤の確立

(1) 「兵庫五国連邦 (U5H) プロジェクト」の展開 (予算額 6,345千円)

県民による投稿を軸に、ふるさと意識の醸成や県内外との交流推進を図ることを目的に、様々な切り口で本県の魅力を発信するコンテンツを展開。

また、庁内各部局と連携し、健康づくりや県産食材の認知度向上といった各種施策について、U5Hを活用した情報発信を実施。

① 「県民協働型広報」の展開

県民からの投稿を基本に地域への誇りや愛着心の醸成、交流推進を目指した取組を展開。今年度は短歌ブームも踏まえて県の魅力を詠んだ短歌を募集。



U5H短歌

② 庁内他施策との連携

健康づくりや県産食材の認知度向上のため、県産品や県内企業の製品を使用した朝食レシピを募集。審査には神戸女子大学で栄養学を学ぶ学生が参画。



わが家のズボラ朝ごはんレシピ

(2) 「ヒョーゴアーカイブス」の運営

兵庫の過去と現在の姿を県民とともに保存・活用し、未来に伝えていくwebサイトを運営し、ふるさと意識の醸成や五国の多様で豊かな魅力を発信。

【概要】

- ・コンテンツ数：R5.10月末動画88点、写真769点
- ・活用事例：特別展示「アーカイブス展—ひょうごの豊かな海—」を県政資料館で実施（R4）
NHK等TV局各社での東京リピック特集での映像利用等（R1）
県立図書館での動画放映（H31）



ヒョーゴアーカイブスホームページ



くらし：尼崎で出勤（摂津）



交通：山陽新幹線兵庫まっしぐら（播磨）



文化：竹田城跡（但馬）



働く：丹波布を手織る（丹波）



風景 淡路に届け！（淡路）

II 広聴活動の推進

1 県政への意見・提言の把握

「県民ボトムアップ型県政」を推進するため、多様なチャンネルを通じて県民とのコミュニケーションの確立を図る。

(1) 県民意識調査（予算額 1,042千円）

県民の価値観や行動志向、県政へのニーズなど県民意識の基本的な経年変化を大きな潮流として捉え、県の政策形成、施策運営に反映。

調査対象：県内在住の18歳以上の者 5千人（無作為抽出）

毎年調査項目：ア「生活満足度」イ「生活向上感」ウ「震災に対する意識」

エ「地域活動への参加実績」オ「県政への関心」

【令和5年度調査】

年次テーマ	ひょうごのインフラ整備を考える
目的・活用方法	道路や橋、堤防などのインフラ整備の考え方を示す「社会基盤整備プログラム」の改定にあたり、地域の課題や自然災害等に対応するために必要となるインフラや住みやすいまちづくりについて、満足度や評価、期待する効果等を調査し、プログラムの改訂や今後のインフラ整備に活用する。
実施時期	実施時期：R5.9.27～10.24 ※調査結果概要はR6年2月発表予定

(2) 県民モニター

施策や事業の立案等に県民の意見を活かしていくため「県民モニター」を一般募集し、県民に身近な課題についてインターネットを利用して意見を聴取。

対 象：県内在住・在勤・在学で県政に関心を有する18歳以上の者
 人 数：2,531人（R5.10月末）
 任 期：当該年度内（再任可）
 活動内容：県ホームページ上でアンケート調査に回答



【令和5年度調査】

回	調査テーマ	調査結果の活用	実施期間
1	介護に関する意識について	介護サービスの充実、高齢者の自立支援など施策の推進及び兵庫県老人福祉計画（第9期介護保険事業支援計画）改定に活用する。	R5.6.2(金) ～6.12(月)
2	受動喫煙対策について	受動喫煙の防止等に関する条例附則に基づく今後の受動喫煙対策に関する施策検討の参考とする。	R5.7.7(金) ～7.17(月)
3	新型コロナウイルス感染症に対する県民の意識や県が行った対策等について	県が行ってきた新型コロナウイルス感染症対策の取り組み（保健医療など患者対策、社会活動の制限）について、県民の意識、満足度等を把握し、今後の感染症施策検討の参考とする。	R5.9.29(金) ～10.9(月)
4	防災に関する意識と取り組みについて	防災対策の効果的な推進及び県民の防災意識の高揚を図るため、県民の防災・減災に対する認識及び取り組みの現状を把握する。	R6.1月予定

(3) さわやか提案箱

県のホームページに、県政に関する意見、提案等に電子メールで対応するメールボックスを開設

(件数)

年度	意見・提案等	簡易な照会	計
H30	228	28	256(0)
R1	1,085	22	1,107(857)
R2	13,567	7	13,574(11,903)
R3	6,525	10	6,535(3,803)
R4	2,474	41	2,515(782)
R5.9月末	1,098	28	1,126(78)

() はうち「新型コロナ」関係

II 広聴活動の推進

2 相談体制の充実

(1) さわやか県民相談（予算額 54,784千円）

兵庫県民総合相談センター、各県民局・県民センター、広報広聴課に相談員を配置し、専用電話（フリーダイヤル等）、面談などにより、県民の県政に対する意見・要望や日常生活に係る相談事案などに対応。

【相談体制】

配置場所	県民局・県民センター	県民総合相談センター	広報広聴課	合計
相談員	15人	3人	2人	20人

【利用状況】

(件数)

年度	照会	相談	意見	苦情	その他	合計
R3	7,341	3,852	1,659	807	1,504	15,163
R4	7,331	3,735	1,050	589	1,775	14,480
R5.9月末	3,650	2,272	741	528	505	7,696

(2) 兵庫県民総合相談センター（予算額 20,720千円）

県政に対する意見、要望から生活一般に関する悩みごとまで、県民から寄せられる相談等に幅広く対応。そのため、各種専門相談窓口を同センター内に併設するとともに、相談内容に応じて、県や国、市町の所管部署を案内するなど、相談業務の総合調整機能を充実。

【相談窓口及び利用状況】

(件数)

相談窓口	R3年度	R4年度	R5.9月末現在
さわやか県民相談	3,190	2,869	1,580
法律相談	150	147	99
家事（家庭問題）相談	32	34	19
認知症・高齢者相談	335	384	199
外国人県民相談	3,737	4,264	1,724
交通事故相談	491	407	165
住まいの相談	1,986	1,743	896
国の行政相談	6	15	0
合計	9,927	9,863	4,682

そうや!
兵庫県民総合相談センター
に聞いてみよう

Please don't hesitate to call us!
(Hyogo Prefectural Information and Advisory Service) ★ (for foreign residents in Hyogo)

令和5年度 兵庫県の総合相談窓口

兵庫県民総合相談センターは、県政やくらしの困りごとについて専門の窓口等をご案内する総合相談窓口です。お気軽にお電話ください。経験豊富な相談員がお待ちしています。
また、県内各地の県民局・県民センターとも連携し、法律相談・家事（家庭問題）相談などの専門相談（テレビ電話相談含む）を行っています。

県政へのご意見・ご要望やくらしの困りごとなど

さわやか県民相談

電話・来所・メール相談

県政へのご意見・ご要望やくらしの困りごとなどについて、さわやか県民相談員が対応（内容によって、専門の相談窓口をご案内）

<p>日常生活上の法律問題等</p> <p style="text-align: center;">法律相談</p> <p style="text-align: center;">電話のみ 要予約</p> <p>日常生活上の法律問題等について、弁護士が助言（当センターへの来所相談、県民局等でのテレビ電話相談）</p>	<p>離婚や相続のトラブル等</p> <p style="text-align: center;">家事（家庭問題）相談</p> <p style="text-align: center;">電話のみ 要予約</p> <p>離婚や相続のトラブル等について、元家庭裁判所調停委員が助言（当センターへの来所相談、県民局等でのテレビ電話相談）</p>
<p>高齢者と家族が抱える認知症・介護・虐待等</p> <p style="text-align: center;">認知症・高齢者相談</p> <p style="text-align: center;">電話相談のみ</p> <p>認知症・介護・虐待に関する悩みごとに「認知症の人と家族の会」会員と看護師等が対応</p>	<p>話し合いの仕方、保険請求の方法等</p> <p style="text-align: center;">交通事故相談</p> <p style="text-align: center;">電話・来所相談</p> <p>交通事故に遭った時の話し合いの仕方や保険請求の方法等について、専門の相談員が対応</p>
<p>住まいに関する技術的助言、契約のトラブル等</p> <p style="text-align: center;">住まいの相談</p> <p style="text-align: center;">電話・来所相談</p> <p>住まいに関する技術的な問題や契約のトラブルに専門の相談員が対応（建築士による相談は回数のみ、要予約）</p>	<p>国の行政に対する要望、苦情、相談等</p> <p style="text-align: center;">国の行政相談</p> <p style="text-align: center;">電話・来所相談</p> <p>国の行政に対する要望、苦情、相談等について、行政相談委員が対応</p>

医療やくらしなど 外国人の生活に関すること

★外国人県民相談

Consultation for foreign residents in Hyogo

電話・来所相談

英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語は相談員が対応、その他の言語は外部通訳を利用
※詳細は、右記QRコードを読み取り、外国人県民インフォメーションセンターの情報をご確認ください。

兵庫県民総合相談センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
神戸クリスタルタワー6階（JR神戸駅前）

TEL 078-360-8511
FAX 078-360-2898

II 広聴活動の推進

3 県庁見学の実施

(1) 県庁見学（予算額 4,647千円）

県庁を訪れる小学生等を対象に、兵庫県公館、災害対策センター、県警本部等を案内するとともに、県勢や県の仕事を紹介し、郷土学習意欲の向上及び県政への理解を促進。

【実施状況】

(件数)

年度	小学生		一般団体		合計	
	団体数	見学者数（人）	団体数	見学者数（人）	団体数	見学者数（人）
R3	59	2,454	7	157	66	2,611
R4	108	4,226	19	537	127	4,763
R5.10月 末現在	47	2,174	25	748	72	2,922

主な
見学
場所



兵庫県公館



災害対策センター



みどり展望(県庁2号館13F)

【参考】令和5年度県民モニター調査概要

第1回「介護に関する意識について」

- (1) 調査対象者：県民モニター2,384人 (2) 調査期間：令和5年6月2日(金)～6月12日(月)[11日間]
 (3) 回答者数：1,826人(回答率76.6%)
 (4) 調査結果の概要（主なもの）

項目	結果概要
Q 介護をしたり受けたりした経験の有無	経験がある人は48.7%と前回R2調査（48.3%）と同程度。経験がある人は男性（46.1%）は下降、女性（50.9%）は上昇しており、その差は4.8ポイントと前回調査（3.5ポイント）より大きくなっている。
Q 介護で不安に感じること	「身体的な負担が大きいこと(74.0%)」が最も多く、次いで「介護がいつまで続くかわからないこと(69.2%)」、「金銭の負担が大きいこと(63.2%)」と続いている。
Q 自分自身や家族に望む介護	約7割の県民が、自分自身や家族に介護が必要となった場合、「自宅」での介護を望んでおり、前回R2よりも増加傾向にある。
Q 介護保険料とサービス水準のあり方	「保険料も介護サービスも現状程度でよい（31.2%）」が最も多く、次いで「保険料が高くなってもいいから、介護サービスを充実してほしい（24.9%）」であった。
Q 地域包括ケアシステムの認知度	約6割の県民が、地域包括ケアシステムについて聞いたことがある。また、介護経験がある人では「知っている」もしくは「聞いたことがある」方が71.7%いることに対し、介護経験がない人は47.4%と24.3ポイントの差があった。
Q 高齢者が地域で自立して暮らすために必要な支援	「介護サービス（訪問介護、デイサービス、ショートステイ等）（58.7%）」が最も多く、次いで「買い物支援（宅配・移動販売）（49.9%）」、「移動（外出）支援（47.0%）」が続いている。

【参考】令和5年度県民モニター調査概要

第2回「受動喫煙対策について」

- (1) 調査対象者：県民モニター2,407人 (2) 調査期間：令和5年7月7日(金)～7月17日(月)[11日間]
 (3) 回答者数：1,779人(回答率73.9%)
 (4) 調査結果の概要（主なもの）

項目	結果概要
Q この1ヶ月間に受動喫煙の被害にあったか Q どのような場所で被害にあったか	「受動喫煙にあった人」は42.2%と前回R2調査時からは5.4ポイント増加。受動喫煙にあった場所は、「歩きたばこ等の路上（29.2%）」が最も多く、次いで「飲食店（18.2%）」、「コンビニ等多数の人が利用する施設の出入口付近（11.5%）」が続いている。
Q 喫煙により健康にどのような影響があると思うか ※複数回答可	「生活習慣病の危険性を高める（84.8%）」が最も多く、次いで「COPD（肺気腫や慢性気管支炎など呼吸障害）の危険性を高める（61.3%）」が続いている。
Q 受動喫煙により健康にどのような影響があると思うか ※複数回答可	「生活習慣病の危険性を高める（71.6%）」が最も多く。次いで「子どもの肺炎、気管支ぜんそくや中耳炎の危険性を高める（63.3%）」が続いている。
Q 受動喫煙防止条例の認知度	64.2%の県民が条例があることを知っており、前回R2調査時より4.4ポイント減少。なお、非喫煙者の方が喫煙者より認知度が低い。
Q 喫煙環境表示の参考度	71.1%の県民が飲食店を選ぶ時に喫煙環境表示を参考にすが、非喫煙者の方が喫煙者よりその割合が低い。
Q 今後、県に期待する受動喫煙対策	前回調査時と同様「受動喫煙が健康に及ぼす悪影響についての普及啓発（68.0%）」が最も多く、次いで「20歳未満の者への喫煙防止教育（57.1%）」が続いている。



兵庫県



スポーツ振興について

- HYOGOスポーツの新たなトビラをひらく -

作成年月日	2023年11月17日
作成部局名	県民生活部スポーツ振興課

目次

- I HYOGOスポーツの全体像 P 3
- II HYOGOスポーツの新展開 P 4
- III HYOGOスポーツにおける生涯スポーツの推進 P10
- IV HYOGOスポーツにおける競技スポーツの推進 P13

I HYOGOスポーツの全体像

教育委員会におけるスポーツ行政 -2023.3.31

部活動を含めた学校教育の延長線上のスポーツ振興

2022年3月 第2期兵庫県スポーツ 推進計画の策定

- 競技力レベルの向上
- スポーツ実施率の向上



- 多様化が進むスポーツへの対応
 - ・アーバンスポーツの振興
 - ・eスポーツの振興
 - ・ネイチャースポーツの振興

知事部局におけるスポーツ行政 2023.4.1-

部活動の地域移行に伴い地域スポーツが大きな役割へ
スポーツの多面的な価値を最大限に活用し兵庫を活性化



2023年10月 HYOGOスポーツ新展開 検討委員会立ち上げ

- 地域スポーツの環境づくり
 - ・子ども達のスポーツ環境づくり
 - ・スポーツ人材の育成
 - ・スポーツ観戦の機会創出



- アスリートの育成・支援
 - ・部活動の地域移行への対応
 - ・トレーニング環境の充実
 - ・セカンドキャリアのサポート



HYOGOスポーツ



- ステイクホルダーとの連携
 - ・プロスポーツや企業等との連携
 - ・観光や地域振興、健康・福祉分野等の施策との連携

Ⅱ HYOGOスポーツの新展開①

1 プロスポーツクラブ・企業等との連携

(1) ヴィッセル神戸との連携事業

2023年4月22日、楽天グループ株式会社との包括連携協定を締結し、ヴィッセル神戸とともに、スポーツによる地域活性化に関することなど、各種連携事業を展開

楽天グループ連携協定



楽天グループとの包括連携協定 (2023.4.22)

高校生招待プロジェクト

県内の高校生を本拠地ノエビアスタジアム神戸でのホームゲーム (2023.7.22) に無料招待



高校生招待プロジェクト チラシ

“ふるさと納税”のPR

国立競技場〔東京〕開催のホームゲーム (2023.10.21) に合わせ、会場に兵庫県ブースを出展し、兵庫県へのふるさと納税をPR



ふるさと納税PRチラシ

Ⅱ HYOGOスポーツの新展開②

(2) 神戸ストークスとの連携事業

神戸ストークスとの包括連携協定（2022.8.31締結）に基づき、各種連携事業を展開

小中高生ホームゲーム無料招待企画

子ども達に、プロのスゴ技を“リアル”で見る機会を提供するため、日本生命保険相互会社、神戸ストークス、兵庫県の三者にて無料招待企画を実施



招待企画も貢献して、観客動員数が大幅に増加（2023.4.8）



小中高生 招待企画チラシ

県立高校へのバスケットボール等寄贈事業

ストークスを応援する企業の協力を得て、県立高校へバスケットボール用品を寄贈するプロジェクトを実施



県立夢野台高校へバスケットボール寄贈（2023.8.1）



Ⅱ HYOGOスポーツの新展開③

(3) コベルコ神戸スティーラーズとの連携

2023年11月9日、包括連携協定を締結。
ラグビーを通じたスポーツ振興や震災の教訓
の継承・発信等で連携



コベルコ神戸スティーラーズ
との協定締結式 (2023.11.9)

(4) トレック・ジャパン株式会社との連携

2023年7月27日、スポーツに関する連携協定を
締結。サイクルイベントの情報発信やヘルメット
着用の推進などで連携



トレック・ジャパンとの
協定締結式 (2023.7.27)

2 新しいスポーツへのアプローチ

(1) アーバンスポーツの推進

東京オリンピックで注目され、若者に人気の
スケートボードやBMXなどのアーバンスポーツ
を振興



世界で活躍するスケーター
を輩出する“g”skate park
(神戸市東灘区)

(2) eスポーツの推進

誰もが参加できるダイバーシティ時代の新スポーツで
あり、地域への経済効果も期待できるeスポーツを
公民連携で推進



HYOGO eスポーツフェスタ
in 城崎温泉 (2022.10.23)

Ⅱ HYOGOスポーツの新展開④

兵庫のポテンシャル

① スポーツ施設の充実

- ・日本陸連公認第一種競技場が3カ所（神戸、三木、加古川）あるのは兵庫だけ（神奈川、静岡が次いで2カ所）
- ・ゴルフ場数（212カ所）は、北海道、千葉に次ぐ第3位
- ・スケートパーク等は、県内に27カ所あり

県内の主なスポーツ施設



② 本拠地を置く18のプロスポーツクラブ （トップリーグ所属を含む）

- ・阪神タイガースは、12球団トップの1試合平均41,064人（2023シーズン）の入場者数を誇る
- ・神戸ストークス、ヴィクトリーナ姫路は、新たな本拠地となる新アリーナ建設予定あり

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---|
| ■野球・日本野球機構
阪神タイガース | ■日本女子フットサルリーグ
アルコ神戸 | ■バレーボール・Vリーグ（男子）
兵庫デルフィーノ〔3部〕 |
| ■野球・関西独立リーグ
兵庫レイバース
淡路島ウオリアーズ | ■SWHLレディース西宮 | ■バレーボール・Vリーグ（女子）
ヴィクトリーナ姫路〔2部〕
JTマーヴェラス〔1部・サブ〕
久光スプリングス〔1部・サブ〕 |
| ■女子ソフトボールリーグ
シノノギレインボーストークス兵庫 | ■ラグビー・リーグワン
コベルコ神戸スティーラーズ〔D1〕 | ■アメリカンフットボール X1 SUPER
アサヒ飲料クラブチャレンジャーズ
エレコム神戸ファイニーズ |
| ■サッカー・Jリーグ
ヴィッセル神戸〔J1〕 | ■ラグビー女子
神戸ファストジャイロ | |
| ■サッカー・WEリーグ
INAC神戸レオネッサ | ■バスケットボール・Bリーグ
神戸ストークス〔B2〕 | |
| | ■バスケットボール・Wリーグ
姫路イーグレッツ | |

③ 世界で活躍するトップアスリート

〔フィギュアスケート〕

坂本花織 世界選手権2023優勝

〔柔道〕

阿部一二三・詩 兄妹 世界選手権2023優勝

〔陸上〕

田中希実 世界選手権2023 5000m 8位入賞

Ⅱ HYOGOスポーツの新展開⑤

3 HYOGOスポーツ新展開検討委員会

- 〔目的〕 ①スポーツが持つ多面的な力を引き出す ②スポーツによって県民生活を豊かにする
③スポーツによって兵庫経済を拡大する

〔組織〕

HYOGOスポーツ新展開 検討委員会 (13名)



第1回検討委員 (2023.10.12)

地域スポーツ分科会 (9名)

- ・スポーツに触れる環境づくり
- ・スポーツ観戦の機会創出
- ・スポーツ施設の有効活用

スポーツビジネス分科会 (8名)

- ・プロスポーツクラブとの連携
- ・スポーツ関連企業の振興
- ・スポーツツーリズムの振興

アスリート育成分科会 (7名)

- ・トレーニング環境の充実
- ・プロや大学連携によるアスリート育成
- ・アーバンスポーツの振興

ユニバーサルスポーツ分科会 (10名)

- ・障害者スポーツの振興

〔スケジュール〕

○検討委員会 (2023年10月、12月、2024年2月) / ○分科会 (2023年11月、2024年1月)

Ⅱ HYOGOスポーツの新展開⑥

(参考) 第1回検討委員会 (2023.10.12) 主な意見

テーマ1 地域スポーツの環境づくり

- ・スポーツが生活の一部となるよう、施設を気軽に使えることが大事
- ・学校のスポーツ施設がもっと柔軟に使えるようになれば



テーマ2 スポーツ人材育成の拠点“兵庫”の形成



- ・ジュニア選手向けにマナーを含めた人間的な土台づくりができないか
- ・兵庫では一定の競技に特化したスポーツアカデミーをつくれる可能性あり

テーマ3 スポーツビジネスの拡大

- ・兵庫の自然環境を活かしたアドベンチャートラベルに期待
- ・スポーツイベントを呼び込むスポーツコミッションの創出が必要では



テーマ4 ユニバーサルスポーツの振興



- ・障害者だけの大会ではなく、視覚障害者の伴走など障害者と健常者が一緒にスポーツができる仕組みづくりがインクルーディングな考え方につながる

Ⅲ HYOGOスポーツにおける生涯スポーツの推進①

地域の多様なニーズを踏まえ、気軽に参加できるスポーツ環境づくりに取り組む

1 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（2,929千円）

「スポーツクラブ21ひょうご」について、スポーツ大会の開催等を契機としてクラブ間の連携を促進するとともに、活動の活性化や自主自立の運営に向けた取り組みを支援

2 「ひょうご女性スポーツの会」の活動支援（4,300千円）

女性のスポーツ環境向上やスポーツ人口の増加を目標に、女性の競技別大会や競技の枠を越えて女性特有の課題を扱う研修会の開催などに取り組む「ひょうご女性スポーツの会」の活動を支援

3 地域スポーツ活性化支援事業（2,000千円）

地域のスポーツ活動に関わるステイクホルダーが、地域の実態に即した取り組みができるよう、市町単位での「地域スポーツコンソーシアム」設置を促進するとともに、イベント開催経費を支援



Ⅲ HYOGOスポーツにおける生涯スポーツの推進②

4 神戸マラソン2023の開催（68,883千円）

ランニングを核とした県民スポーツの振興を図り、阪神・淡路大震災の復旧・復興における経験や教訓、兵庫・神戸の魅力を国内外に発信

〔日程〕 2023年11月19日（日） 〔定員〕 20,000人

〔主催〕 兵庫県、神戸市、（一財）兵庫陸上競技協会



〔コース：神戸市役所前～明石海峡大橋の西方～ポートアイランド市民広場〕



前回大会の様子（2022.11.20）

〔神戸マラソン将来構想検討委員会〕

県、神戸市、関係者による検討委員会において新しい神戸マラソンの在り方を検討

Ⅲ HYOGOスポーツにおける生涯スポーツの推進③

5 関西マスターズゲームズin HYOGOの開催事業等（11,036千円）

ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向けて、生涯スポーツの機運をさらに高めるとともに、成人のスポーツ参加機会の拡充を図るため、関西マスターズゲームズin HYOGOを開催

ワールドマスターズゲームズ2027関西

〔主催〕 (公財) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

〔期間〕 2027年5月14日（金）～30日（日）

〔競技〕 公式競技 35 競技 59 種目

(うち兵庫県開催 11 競技 15 種目)



6 関西広域連合スポーツ部の取り組み

生涯スポーツの機運の高まりを継続的なものとし、関西における生涯スポーツの振興による健康長寿社会の実現や地域の活性化を強力に進めるため、構成府県市の連携による一体的な取り組みを推進

IV HYOGOスポーツにおける競技スポーツの推進①

ジュニア期からトップレベルに至るまでの競技力向上の強化システムの充実に取り組む

1 競技スポーツ振興事業（198,317千円）

兵庫のスポーツ選手が全国や世界で活躍できるよう、子どもがスポーツ好きになる機会の創出、ジュニア選手の発掘・育成、トップアスリートの強化・サポート、指導者の養成等により競技力の向上に取り組む



（ジュニアスポーツアカデミー）

2 県民スポーツ大会の開催 及び 国民体育大会への派遣（54,299千円）

(1) 県民スポーツ大会の開催

- 競技種目：陸上競技やサッカーなど計59種目
- 参加総数：約45,000人

(2) 国民体育大会（2024年から「国民スポーツ大会」へ変更）への派遣

- 本大会：鹿児島県（2023年9月、10月）
- 冬季大会：北海道、山形県（2024年1月、2月）



IV HYOGOスポーツにおける競技スポーツの推進②

(参考) 国民体育大会の成績

2023年の国民体育大会は、昨年と比べ総合順位を1つ上げ、総合10位に振り返り

	2022年	2023年
1	東京都	東京都
2	栃木県	鹿児島県
3	埼玉県	大阪府
4	愛知県	愛知県
5	大阪府	埼玉県
6	神奈川県	神奈川県
7	千葉県	福岡県
8	福岡県	千葉県
9	北海道	京都府
10	京都府	兵庫県
11	兵庫県	佐賀県
12	三重県	北海道
13	岐阜県	岐阜県



IV HYOGOスポーツにおける競技スポーツの推進③

3 スポーツ大会招致事業（6,000千円）

兵庫のスポーツ選手の競技力向上に資するとともに、質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、国際大会や全国大会を招致

〔2023年度招致大会〕

- ① 全農杯2023全日本卓球選手権大会（7月）
- ② 全日本小学生ソフトテニス選手権大会（8月）
- ③ 全国グラウンド・ゴルフ交歓兵庫県大会（11月）
- ④ 全日本実業団ボウリング選手権大会（11月）
- ⑤ 全日本高等学校女子サッカー選手権大会（12～1月）



全国グラウンド・ゴルフ交歓兵庫県大会
(2023.11.9)

4 兵庫県スポーツ賞優秀賞表彰

優秀な成績をあげた県下のスポーツ選手に対して、その功績を讃え、兵庫のスポーツ発展につなげる

○受賞者数（昨年度：兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰）

金メダル 208 （オリンピック・パラリンピック出場者、国際大会で3位以内の入賞者等）

銀メダル 145 （国際大会で4～8位入賞者等）



スポーツ優秀選手賞表彰式（2023.2.14）